

祁正慶さん / 福岡教育大学  
Mr. Qi Zhengqing / Fukuoka University of Education

<外国人研究者プロフィール Profile>

国籍: Nationality:	中国 / China
日本留学時の滞在期間: Period of Stay During in Japan:	2003年4月20日 ~ 2006年3月29日 Apr. 20, 2003 ~ Mar. 29, 2006
日本留学時の大学: Education Background in Japan:	福岡教育大学大学院教育学研究科(修士課程) / Fukuoka University of Education
専攻分野: Major Field:	学校心理学 / School Psychology
現在の所属/職位: Present Institution / Status:	中国青海大学医学部 / 講師 主治医師 Medical College of Qinghai University / Lecturer & Pediatrics Doctor



祁正慶さん  
Mr. Qi Zhengqing

<研究報告 Follow up Research Fellowship>

受入研究者氏名: Research Adviser:	小泉令三教授 / Prof. Koizumi Reizo
受入れ期間: Researching Period:	2010年9月1日 ~ 2010年11月29日 Sep. 1, 2010 ~ Nov. 29, 2010
研究課題: Theme of Research:	中国における今後の特別支援教育の取組について —日本の特別支援教育との比較を通して— Future efforts in special needs education in China : A comparison with the special needs education in Japan

■研究概要 Outline of Reserch



発達検査に関するワークショップ参加  
The participation of workshop about  
devopmental chech

日本の特別支援教育について、就学前の取組としては、乳幼児健診による早期発見のしくみの現場訪問や、地方自治体の関係窓口を訪問して、取組の工夫点などを調査した。学齢期の取組については、地方自治体の発達障害総合療育センター、大学の特別支援教育センターを訪問し、特別支援教育を受けている子供の保護者にインタビューした。学校現場では、公立小学校の特別支援教育活動の集団指導場面および個別支援活動を見学し、特別支援教室の担当教師にインタビューした。また、特別支援学校の発表会に参加し、学校内の教育施設などを見学した。さらに、東京で行われた発達障害検査についてのワークショップと発達障害シンポジウムに参加して資料収集をおこなったり、九州大学で開かれた「モーズレ-病院・ロンド大学児童青年精神医学専門研修プログラムの紹介」に参加した。以上の調査等で得た資料をもとに、特別支援教育における日本と中国の現状を比較しながら、今後の中国の特別支援教育の取組について考察した。

■研究成果 Result of Reseach

研究成果は次の5点で、福岡教育大学大学院教職実践専攻年報(2011年2月発行予定)に論文として掲載予定である。

1. 中国は、日本の特別支援教育のやり方を参考にして、学校教育現場に発達障害児の特別支援教育を積極的に取り入れるべきだ。
2. 中国に特別支援教育のやり方を導入するとき、中国の実情(クラスの人数、教師の資質など)に合わせて進めなければいけない。
3. 発達障害児の特別支援教育を導入する際、他者の感情理解の様式が健常児とは異なることを、教師や保護者に明確に伝え、常に念頭に置くよう指導する必要がある。
4. 発達障害の診断においては、医学と発達障害学の立場から早期に発見することが可能であると考えられる。
5. 発達障害児に対する治療については、現在の薬物療法のほか漢方医学(鍼、マッサージ、漢方薬)も可能性があると考えられる。



公立小学校での特別支援教育の  
個別指導見学

The visit of the special needs education individual  
instruction in the public primary schools

## ■日本留学の思い出 Memories of Studying in Japan



特別支援学校発表会参加  
The participation of the presentation in  
Special Education School

留学したときの思い出がたくさんあります。まず私は、私費留学生として日本に留学しました。沢山の友人たちのおかげで無事に大学院を修了し、その時から神様が私を守ってくれていると思います。貴重な援助をくださった友人達は、神様の天使ではないかと思いました。留学することにより私は成長させられた気がして、日本の先生や友達のことを見たり、聞いたり、考えたりしながら、私自分も何かしなければいけないようになりました。大学の先生の魅力的な人格に惹かれ、自分の人格も清められた気がします。

失敗もありました。お世話になっている先生の家に行ったとき、お風呂の使い方が分からなくて大変困りました。また、大学院の授業に慣れていないとき、レポートをパソコンに打ち込んで完了する直前に消えてしまったときには、とても悔しかったです。アルバイトで失敗して店長に迷惑をかけたときも、とても恥ずかしかったです。



特別支援学校訪問  
The visit to the Special Education School



研究終了結果の発表会  
The presentation of the research results